

令和5年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年2月7日

東

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4931 URL <https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼 (氏名) 小野 哲矢 (TEL) 092(720)5800
 財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 令和5年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第1四半期の連結業績(令和4年10月1日~令和4年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第1四半期	9,255	△0.2	839	1.6	840	1.0	561	2.4
4年9月期第1四半期	9,273	—	826	—	832	—	548	—

(注) 包括利益 5年9月期第1四半期 561百万円(2.9%) 4年9月期第1四半期 545百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第1四半期	26.14	25.99
4年9月期第1四半期	25.61	25.39

(注) 1. 令和3年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和4年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 令和4年9月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、令和4年9月期第1四半期については、暫定的な会計処理の確定による取得価額の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額によっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第1四半期	23,804	17,779	74.1
4年9月期	23,857	17,918	74.4

(参考) 自己資本 5年9月期第1四半期 17,642百万円 4年9月期 17,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00
5年9月期	—	—	—	—	—
5年9月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年9月期の連結業績予想(令和4年10月1日~令和5年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,600	3.3	1,409	△16.0	1,390	△18.0	949	△16.7	44.25
通期	38,000	5.2	3,560	1.1	3,471	△0.5	2,380	1.0	110.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年9月期1Q	21,855,200株	4年9月期	21,855,200株
② 期末自己株式数	5年9月期1Q	358,609株	4年9月期	389,909株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5年9月期1Q	21,482,541株	4年9月期1Q	21,423,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なっている可能性があります。
 (決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社グループは、令和5年2月7日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、令和3年6月30日に行われた株式会社フラット・クラフトとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間に暫定的な会計処理を行っておりましたが、前第3四半期連結会計期間に確定したため、前年同四半期連結累計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展により行動制限が緩和され、少しずつ経済活動回復の兆しが見られる一方、海外情勢の変化による世界的な原油価格・原材料費高騰、急激な円安の進行等による食品や日用品、光熱費等の値上げなど、予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループは中期経営計画「VISION2025」に基づき重点課題に取り組みました。

通信販売においては、化粧品では「パーフェクトワン グロウ&カバークッションファンデーション」を中心とした広告投資に加え、「パーフェクトワン 薬用リンクルストレッチジェル」への広告投資を強化し、成長の基盤となる定期顧客づくりに取り組みました。また、「落とす・満たす・魅せる」の3ステップスキンケアの提案を軸に、複数商品の定期購入を提案する取り組みを強化したことで、クロスセルが好調に推移し、定期購入顧客の単価上昇に貢献しました。ヘルスケアでは、前連結会計年度に引き続き機能性表示食品「Wの健康青汁」への広告投資を強化した結果、新規顧客の獲得が好調に推移しました。EC販売においては、「PERFECT ONE FOCUS (パーフェクトワンフォーカス)」では、20代~30代をターゲットに、インフルエンサーの起用やSNSマーケティングの継続的な取り組みに加え、限定商品「パーフェクトワンフォーカス スムースクレンジングバームVC7」の発売により、話題づくりと認知拡大に取り組んだ結果、特に大手ECモールでの販売が拡大しました。

直営店舗販売・卸売販売においては、東京及び大阪で開催した「PERFECT ONE FOCUS (パーフェクトワンフォーカス)」のポップアップイベントを通じたリアルな顧客体験によるファンづくりや話題作りに取り組みました。また、3ステップスキンケアを提案するブランドCMに連動したディスプレイへの切り替えを行った結果、「パーフェクトワン グロウ&カバークッションファンデーション」を中心に、卸売販売は堅調に推移しました。

海外販売においては、新型コロナウイルス感染症による活動制限がある中で、中国では新戦略の展開に向け、大手越境ECモールTmall Globalへの旗艦店オープンに向けた準備やSNSマーケティングの展開準備等、第2四半期以降のスピーディーな立ち上がりに向けた取り組みを推進しました。また、台湾では大型ドラッグストアWatsonsでの販売が開始されるなど、新たな販路の開拓に積極的に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,255百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益は839百万円(前年同期比1.6%増)、経常利益は840百万円(前年同期比1.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は561百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

また、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、53百万円減少して23,804百万円となりました。これは主に、売掛金が188百万円、商品が447百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が602百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、86百万円増加して6,024百万円となりました。これは主に、未払法人税等が254百万円、賞与引当金が114百万円それぞれ減少した一方で、買掛金が228百万円、未払金が210百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、139百万円減少して17,779百万円となりました。これは主に、利益剰余金が146百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年9月期の連結業績予想につきましては、令和4年11月11日付「令和4年9月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,351	13,749
売掛金	2,862	3,050
商品	1,565	2,013
その他	526	547
貸倒引当金	△42	△44
流動資産合計	19,265	19,316
固定資産		
有形固定資産	2,050	2,041
無形固定資産		
のれん	923	897
その他	568	548
無形固定資産合計	1,492	1,445
投資その他の資産	1,049	1,000
固定資産合計	4,592	4,487
資産合計	23,857	23,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	553	781
1年内返済予定の長期借入金	396	398
未払金	1,814	2,024
未払法人税等	500	245
賞与引当金	201	86
その他	509	621
流動負債合計	3,975	4,158
固定負債		
長期借入金	1,443	1,346
退職給付に係る負債	182	185
その他	337	335
固定負債合計	1,963	1,866
負債合計	5,938	6,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158	4,158
資本剰余金	4,121	4,110
利益剰余金	10,199	10,052
自己株式	△735	△676
株主資本合計	17,744	17,645
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△3	△3
新株予約権	177	137
純資産合計	17,918	17,779
負債純資産合計	23,857	23,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	9,273	9,255
売上原価	1,662	1,714
売上総利益	7,610	7,540
販売費及び一般管理費	6,784	6,700
営業利益	826	839
営業外収益		
受取配当金	0	0
受取賃貸料	2	2
株主優待引当金戻入額	2	—
その他	2	2
営業外収益合計	9	6
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	2	1
投資有価証券評価損	—	3
その他	0	0
営業外費用合計	3	6
経常利益	832	840
特別利益		
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資損失引当金繰入額	12	—
特別損失合計	12	—
税金等調整前四半期純利益	819	840
法人税、住民税及び事業税	199	216
法人税等調整額	71	62
法人税等合計	270	278
四半期純利益	548	561
親会社株主に帰属する四半期純利益	548	561

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純利益	548	561
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3	△0
その他の包括利益合計	△3	△0
四半期包括利益	545	561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545	561

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

令和3年6月30日に行われた株式会社フラット・クラフトとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。この結果、暫定的に算定されたのれんの金額1,136百万円は、会計処理の確定により80百万円減少し、1,055百万円となっております。のれんの減少は、無形資産のその他が122百万円、固定負債のその他が42百万円増加したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微であります。